

| | | | | | |
|-----------|----------------------|----|---|---|---|
| 国語 五—一 | 第三学年及び第四学年の内容 語い② | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|-----------|----------------------|----|---|---|---|

取り組んだ日
月 日

次の文の _____ の言葉の意味
を選び、線で結びましょう。

- ① 話を聞きながらあいづちをうつ。
- ② 草原であおむけに寝た。
- ③ 考えに考えたあげく、行くのをやめた。
- ④ あつかましいにもほどがある。
- ⑤ あななどと大変なことになる。
- 相手をも自分よりも下にみる。
- 相手の話には調子を合わせ、うなづく。
- ずうずうしい。
- 上を向いた状態。
- 結局。
-

| | | | | | |
|-----------|----------------------|----|---|---|---|
| 国語 五十二 | 第三学年及び第四学年の内容 語い② | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|-----------|----------------------|----|---|---|---|

とく
り
組
んだ
日
月
日

次の文の _____ の言葉の意味

を選び、線で結びましょう。

① デパートで先生とはちあわせ
した。

はらをたてる。おこる。

② 短距離走は紙一重たんきよりそうの差で勝つ
た。

おおぜいの人や物事がぎっしり
ならんだり、つづいたりしている
ようす。

③ 行事が目白押しだ。

ほんのわずかなちがい。

④ うちの母はでしゃばりだ。

自分に関係のないことにまで口
を出したり、出て行ったりするこ
と。また、その人。

⑤ 規則をやぶった友達にいきど
おりを感じた。

思いがけずであうこと。

| | | | | | |
|-----------|----------------------|----|---|---|---|
| 国語 五十三 | 第三学年及び第四学年の内容 語い② | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|-----------|----------------------|----|---|---|---|

取り組んだ日
月 日

次の文の 言葉の意味

を選び、線で結びましょう。

- | | | |
|-----------------------|---|--------------------------|
| ① 食べ物がふんだんにある。 | ・ | ほのかにあらわれるようす。かすかに。 |
| ② 校長先生はしなやかに歩く。 | ・ | おこってふきげんになる。 |
| ③ 梅の花がほんのりとかおる。 | ・ | やわらかで、美しい様子。 |
| ④ するどい質問をされて、たじたじになる。 | ・ | あいてのいきおいに押されて、負けそうになる様子。 |
| ⑤ 弟はちよつとのことですぐむくれる。 | ・ | 多く。たくさん。豊かに。 |

| | | | | | |
|-----------|----------------------|----|---|---|---|
| 国語 五十四 | 第三学年及び第四学年の内容 語い② | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|-----------|----------------------|----|---|---|---|

取り組んだ日
月 日

次の文の 言葉の意味

を選び、線で結びましょう。

① 今日こはるびよりは小春日和だ。
 ・ 冬のはじめのころのあたたかく
 ・ おおだやかな天気。

② たわいない話がとても大切な
 ときもある。
 ・ 自分とはまったく関係のない、
 ・ まったくの他人。

③ あの人は赤の他人とは思えな
 い。
 ・ くだらない。まとまりがない。

④ 青二才の君にできることでは
 ない。
 ・ 夜がまだすっかり明けきらない
 ・ ころ。

⑤ 台風は明日の未明に関東にせ
 つきんする。
 ・ 年がわかくてもものごとになれて
 ・ いない人。

| | | | | | |
|-----------|----------------------|----|---|---|---|
| 国語 五一五 | 第三学年及び第四学年の内容 語い② | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|-----------|----------------------|----|---|---|---|

取り組んだ日
月 日

次の文の _____ の言葉の意味

を選び、線で結びましょう。

① 休日は昼下がりまで昼ねをした。
何日間も降り続く雨。
正午を少しすぎたころ。

② 買い物をしていたら、にわか雨がふってきた。
秋から冬になるころ降ったりやんだりする雨。

③ 時雨もよう
急に降り出してすぐにやむ雨。

④ 秋の長雨
六月ころに降り続く雨。つゆ。

⑤ 五月雨

| | | | | | |
|-----------|----------------------|----|---|---|---|
| 国語 五十六 | 第三学年及び第四学年の内容 語い② | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|-----------|----------------------|----|---|---|---|

取り組んだ日
月 日

次の文の _____ の言葉の意味

を選び、線で結びましょう。

- | | | | |
|---|-------------------|---|------------------------|
| ① | あいてのいきおいにひるむ。 | • | いきおいがくじける。おじける。 |
| ② | 今日はたてつづけにテストがあつた。 | • | わけも聞かないで、いきなり決めつけること。 |
| ③ | この味が一番口に合う。 | • | こんがりやけたような良いかおりがする様子。 |
| ④ | パンがこうばしくやきあがる。 | • | 食べ物や飲み物の味がこのみにあう。 |
| ⑤ | 頭ごなしにしっかりつける。 | • | 同じようなことが連ぞくしておこなわれること。 |

| | | | | | |
|-----------|----------------------|----|---|---|---|
| 国語 五十七 | 第三学年及び第四学年の内容 語い② | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|-----------|----------------------|----|---|---|---|

とく
り
組
んだ
日
月
日

次の文の _____ の言葉の意味
を選び、線で結びましょう。

① うまくいえなくて本当にもど
かしい。

・
・
思うようにならないで、いらい
らする。はがゆい。じれったい。

② せっかちにうごきまわる。

・
・
思い通りになって、満足そうな
顔つき。

③ 百点を取って得意顔にな
る。

・
・
きみじか
気短であること。きみじか
気短な人。

④ いたずらをして何食わぬ顔
をしている。

・
・
何も知らないようなすまし顔。
そしらぬ顔。

⑤ ずけずけと意見を言う。

・
・
えんりよしないで、ものを言う
様子。

| | | | | | |
|-----------|----------------------|----|---|---|---|
| 国語 五十八 | 第三学年及び第四学年の内容 語い② | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|-----------|----------------------|----|---|---|---|

取り組んだ日
月 日

次の文の _____ の言葉の意味

を選び、線で結びましょう。

① 友だちの顔色をうかがう。 顔つき。表情。

② ぼくにえんりよするなんて水くさい。 しかる。いましめる。

③ ちこくをたしなめた。 思いがけないようす。いきなり。とつぜん。

④ だしぬけに聞かれてもへんじにこまる。 よそよそしい。

⑤ 畑ちがいの仕事につく。 自分の専門とちがうこと。

| | | | | | |
|-----------|----------------------|----|---|---|---|
| 国語 五十九 | 第三学年及び第四学年の内容 語い② | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|-----------|----------------------|----|---|---|---|

取り組んだ日
月 日

次の文の _____ の言葉の意味

を選び、線で結びましょう。

- | | |
|---|---|
| <p>① 仲直りの橋渡し<small>はしわた</small>をした。</p> <p>② 弟に八つ当たりする。</p> <p>③ のっぴきなならない用事ができた。</p> <p>④ 矢つぎ早に質問する。</p> <p>⑤ 京都までとんぼ返りで行って来た。</p> | <p>間に入って世話をすること。</p> <p>さけることができない。</p> <p>つぎつぎ。続けざま。</p> <p>目的地に着くとすぐまた、もどること。</p> <p>腹を立てて、だれかれかまわず、おこりちらすこと。</p> |
|---|---|